

[中津市] 寺町（てらまち）地区

この地区では、沿道に12カ寺の寺院が立ち並ぶ寺町から福沢諭吉旧居までの歴史を感じさせるスポットに連続性を持たせるため、周辺の景観に合わせて路線の整備が行われています。路面は石畳舗装を行い、花壇が設けられており、現在は、地元住民が中心となって清掃や花壇の手入れを行い、良好な景観が保たれています。

また、それぞれの寺院の高い塀に囲まれた通りは、静かで趣きのある寺町ならではの景観を形成しており、景観計画において中津城周辺景観形成地区に指定され、城下町の風情を保全するための景観形成基準に基づく景観形成が図られています。

